

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本事情	
科目基礎情報							
科目番号	0072		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	特に教科書は使用せず必要に応じて資料を配布する。						
担当教員	開講 せず						
到達目標							
授業の中で使われている用語を理解するとともに、日本の生活、風習、習慣の理解を深める。留学生に対する日本語の講義が前者の日本語の用語などに関することに対して、この講義では、後者の日本の生活、風習、習慣などに関する理解に重点を置く。日本文化である、書道、華道、茶道、囲碁、将棋などを通じたマナー、また体育の授業では行わない日本の国技である柔道、剣道、相撲のマナーを通じて日本語の教育を行う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
書道、華道、茶道についてマナーを説明できる	日本語で書け説明できる		母国語で説明できる		母国語で説明できない		
囲碁、将棋について説明できる	日本語で書け説明できる		母国語で説明できる		母国語で説明できない		
柔道、剣道、相撲について競技とマナーを説明できる	日本語で書け説明できる		母国語で説明できる		母国語で説明できない		
日本語で通常の文章が書ける	漢字仮名まじりの文章が書ける		漢字仮名まじりの文が書ける		漢字仮名まじりの文が書けない		
専門科目の各種補習について理解できる	日本語で専門用語等説明できる		母国語で専門用語を説明できる		母国語で専門用語を説明できない		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E2							
教育方法等							
概要	日本の生活、風習、習慣の理解を深め、日本文化である、書道、華道、茶道、囲碁、将棋などを通じたマナー、日本の国技である柔道、剣道、相撲のマナーを通じて日本語の教育を行う。						
授業の進め方・方法	授業を通して理解度をはかるが、必要に応じて定期試験またはレポートの作成を実施する。						
注意点							
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の目標、計画、評価を理解できる 日本語のコミュニケーションを図れる		
		2週	書道、華道、茶道について		3つの道について学び実技とマナーを理解できる		
		3週	書道、華道、茶道について				
		4週	書道、華道、茶道について				
		5週	囲碁、将棋について		囲碁将棋のルール、マナー、歴史を理解する		
		6週	囲碁、将棋について				
		7週	囲碁、将棋について				
		8週	講義のまとめ、発表等をおこなう		日本語によるまとめを行う		
	2ndQ	9週	柔道、剣道、相撲について		ルールとマナーを理解できる		
		10週	柔道、剣道、相撲について				
		11週	柔道、剣道、相撲について				
		12週	その他のスポーツについて考える（弓道、空手など）		ルールとマナーを理解できる		
		13週	その他のスポーツについて考える（弓道、空手など）				
		14週	その他のスポーツについて考える（弓道、空手など）				
		15週	講義のまとめ、発表等をおこなう		日本語によるまとめを行う		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	実技	合計
総合評価割合	50	20	0	0	0	30	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	10	60
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	0	0	10	10
態度・志向性（人間力）	0	10	0	0	0	10	20
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	10	0	0	0	0	10